



検索・中野あきと

みどりと清流

日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニュース

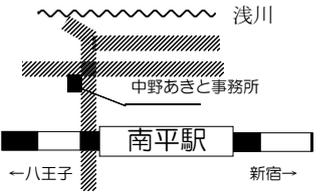
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)

(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏正

2021年
2月発行

第218号

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



日本共産党の市民アンケート 平山・南平地域からの 要求、ご要望

日本共産党日野市委員会が行った「市民アンケート」。多くの返信が寄せられています。ご協力ありがとうございます。これまで寄せられた中から、平山・南平の皆さんの地域の要求やご要望をまとめました。実現に向けてがんばります。

※アンケートの設問はこれ他に、新型コロナウイルス、教育など全市民の問題もありますが、別の方法でお知らせします。

《移動・交通》

- ◆ミニバス・ワゴンタクシー
 - ・平山2丁目の外周通りにバス停を。
 - ・平山苑〜平山城趾公園駅のワゴンタクシー料金を100円にしたい。
 - ・買い物に困っている。平山苑〜豊田駅のワゴンタクシールート。
 - ・高幡橋北側の狭い川崎街道にも大型バスの停留所がある。北野街道にミニバスの停留所はつくられるはずだ。
 - ・ダイヤが40分に一本。本数を増やして(七生中バス利用者)
 - ・ミニバスのダイヤが1時間に1本。以前のように市立病院へ直行で行けるように(平山4丁目アパート)
 - ・ミニバスを南平駅に回してほしい。ヤオコー付近でもいい。
 - ・免許証を返納したが、通院などの足の確保が心配。公共交通の拡充と共に、通院時のタクシー利用に補助を。丘陵地の高齢者にとって深刻。

◆その他

- ・通学路の除雪を。南平小周辺をしつかりやってほしい。
- ・住宅地の道路の白線は、どこもはげてしまっている。市の道路課はやると言いつながらやらない。
- ・電動アシスト自転車購入に補助を。
- ・自転車も市民の大切な足。駐輪場の整備と利用は無料に。

《環境・街づくり》

- ・剪定枝の拠点収集廃止は、業者などに依頼すると出費になる。
- ・平山城趾公園駅前のビルの跡地は、何とか商業施設にならないか。
- ・浅川堤防の除草は以前の回数に戻してほしい。ごみの不法投棄になる。
- ・南平の丘陵地には風雨を防げる避難場所が無い。
- ・浅川堤防のトイレ増設を(長沼橋〜滝合橋、一番橋〜高幡橋のいずれも右岸)

《医療・保健衛生》

- ・今のような広範囲では目が届かない。市内に保健所が必要だ。
- ・市内に保健所が無いのを知りびっくり。保健所が無いことは深刻だが、市の財政を考えると維持できるのか、復活しても財政が悪化しては元も子もない。保健所をただ復活すればいいと言ったのではない。機能的に動ける体制づくりが必要。
- ・コロナは無論、その他の病気でも適切な医療が受けられるように。
- ・日野市を担当する保健所が遠方でびっくりです。保健所は必要です。コロナで証明済みです。
- ・老人施設で働いているが、コロナで言われるのは医療関係者の支援ばかり。毎日コロナの恐怖にさらされている。せめて給付金などの支援を。
- ・1か月から3か月に1回の通院で1万円以上の窓口負担。2割負担は大反対。

河内元副市長などの不正疑惑 全容解明を求めて市議会へ請願署名を

日野市政を私物化した元副市長などの不正疑惑。全容を解明し清潔な市政を取り戻そうと、市民も立ち上がりました。

『憲法を市政に生かすみんなの会』は、「疑惑を全面的に解明することを求める請願署名」を日野市議会に提出する運動を開始。市内全戸を対象に署名用紙付のチラシと返信用の封筒をセットにして、配布が行われています。

この不正疑惑は、河内久元副市長個人の問題に止まりません。馬場前市政、大坪現市政の長年にわたる市政運営の中で生み出されたものです。全容解明を求め、清潔な市政を取り戻す



▲1月30日 高幡不動駅南口で不正疑惑の全容解明を求める「みんなの会」

ため、今月26日から始まる3月市議会に向け急いで取り組みを広げる必要があります。

署名は、中野あきと事務所でも扱っています。

短信

昨年、年も押し詰まってから市内全戸を対象に配布を始めた市民アンケート。年明け早々から返信封筒が続々と到着。一日に二百通を超える日もあった▼これまでアンケートの最多の返信数は約800通。今回はすでに二千通を超え、返信はなおも続いている▼書き込みが多いのも今回の特徴。特に、日本共産党への率直なご意見や耳の痛いご指摘は、背中を押される思いで読ませて頂いている▼「組織の中だけで仲良く固まっている。同調しない意見にも耳を傾けて」へ理想論だけでなく実現可能な政策を▼「批判ばかりでなく対案も示して」などなど▼2000年代に入り二度にわたり綱領を改訂、活動スタイルの改善にも留意し「提案型」を心がけてきたつもり。だが、更なる努力が求められている。ついでに入りがちな批判・告発の前に、まずは「提案」が必要なのだろう▼「地道にがんばっているのに名前のイメージが」へ応援はしているがそれを周囲には言わずに。党名は変えるべき…。若い世代からご心配の方まで、党名へのご意見も予想以上である▼その角度、立場はさまざまであっても、多くの方が日本共産党に注目を寄せて頂いている。「本気で政権を取れ」という叱咤激励も少なくない▼もはや、以前言われた政界の「刺身のつま」ではないのだ。ご指摘は真剣に受け止め、更なる『脱皮』につなげたい。ご協力、大変ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行期における 受診相談の流れ



新型コロナ感染症・暮らしのお困りごとは
中野あきとまで (携帯) 090-5329-7859

こんにちは
清水とし子です ㊦



都議選日程決まる
「今度こそ」の決意新たに

6月25日告示、7月4日投票で都議選が行われることになり、「今度こそ」と決意を新たにしています。

昨年の都議会議員補欠選挙で、私は日本共産党日野市党史上初めて、立憲民主党、社民党、新社会党、有賀精一市議会議員と共に、市民の共同候補としてたたかい、前回都議選の2倍以上の3万5千票を超える支持をいただきました。

選挙後、新型コロナウイルス対策の強化や日野の保健所復活、少人数学級など公約実現に向けた運動に取り組み、約1600軒で市民のみなさんと対話しました。

PCR検査拡充を求める署名では「共産党支持ではないが、署名する」と話す人など、多くの方が応じてくれました。

党日野市委員会が行っているアンケートが2200通以上返ってきています。いままでになつながら、「会社がまた休業。再開の見通しが無い」「教室が密なのでこどもの感染が心配」など切実な声や、元副市長らをめぐる疑惑の徹底説明を求める声が多数寄せられています。

「野党は力をあわせて」「批判ばかりでなく、具体的な対案を出して」という声とともに、一日も早い政権交代を望む声も格段に増えています。

《日野の風物詩》(その2)
江戸時代からの名園 百草園

早春は梅の花、秋は紅葉、四季を通じて咲く花と景観を楽しめる、それが百草園です。日野市の東端、百草の高台に位置しているので眺望も最高です。



園内には50種、500本の梅の木があり、今の時期は早咲きの紅・白梅が咲き、3月初めまで楽しめます。加えて今は、松の木の「雪吊り」光景も見ることができ、スイセンや福寿草も咲いています。

歴史は古く、江戸時代の享保年間(1716年~)に、「寿昌院(じゅしょういん)」という方が徳川家康の長男・信康追悼のためにここに松連寺(しょうれんじ)を再建、その後時代の変遷を経て今の「京王百草園」となって一般に公開されています。

※今年は残念ながらコロナ禍で、恒例の「梅まつり」は中止ですが、通常通り開園されています。水曜日が定休日です。

【2021年3月の無料法律相談日】

- 4日(木) 午後6~8時 清水とし子事務所
 - 11日(木) 午後1~3時 日野市役所6階共産党控室
- お申込みは清水とし子事務所 ☎042-582-1042
- ◎法律相談以外のお困りごともお気軽に
中野あきと事務所 ☎042-599-3350

しんぶん
赤旗

日刊●月3497円 日曜版●月930円

◎短期間のお試し購読。一部売りも。

お気軽にお申し込みを。中野あきと事務所